

# 衆議院原子力問題調査特別委員会ニュース

平成 25. 11. 21 第 185 回国会第 3 号

11 月 21 日（木）、第 3 回の委員会が開かれました。

## 1 原子力問題に関する件

- ・ 浜田復興副大臣、田中経済産業大臣政務官、磯崎経済産業大臣政務官、田中原子力規制委員会委員長及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

（参考人）東京電力株式会社代表執行役社長

廣瀬直己君

（質疑者及び主な質疑内容）

### 築 和生君（自民）

- ・ 原子力規制委員会が発足してから現場重視の姿勢で取り組んできた業務の遂行状況及び今後の改善点について田中原子力規制委員会委員長（以下「田中委員長」という。）に伺いたい。あわせて、原子力発電所の新規規制基準適合性審査が想定より遅れているとのことであるが、進捗状況について確認したい。
- ・ 原子力の分野に係る人材が減少傾向にある中で国全体として原子力政策を担う人材の確保及び育成を図っていかねばならないと考えるが、この点について田中委員長及び経済産業省の見解を伺いたい。あわせて、廣瀬東京電力株式会社代表執行役社長（以下「廣瀬社長」という。）に現場における人材育成の取組について伺いたい。

### 江田康幸君（公明）

- ・ 11 月 18 日より福島第一原発 4 号機の使用済燃料プールからの燃料取り出し作業が始まったが、その実施状況及び今後のスケジュール並びに取り出しに伴う作業員の安全確保の取組について廣瀬社長に伺いたい。あわせて、燃料の取出しに係る「福島第一原子力発電所特定原子力施設に係る実施計画」の認可に至るまでの具体的審査内容について田中委員長に伺いたい。
- ・ 福島第一原発に流入する地下水の挙動の全容が解明されていないが、いつまでにどのような調査を行ってその成果を得ようとしているのか経済産業省に伺いたい。

### 荒井 聰君（民主）

- ・ 反原発・脱原発を訴える市民団体に対する我が国初のサイバー攻撃の発生を受けて、サイバー攻撃への積極的な対応を図るとともに情報セキュリティ対策の強化を図る必要があると考えるが、警察庁の見解を伺いたい。

- ・ 国際放射線防護委員会（ICRP）が示した放射線防護基準値の根拠について確認したい。また、放射線の被ばく線量とその影響はしきい値がなく直線的な関係が成り立つとの仮説もあるが、この仮説に対する田中委員長の認識を伺いたい。
- ・ 福島第一原発建屋内への地下水流入抑制のために凍土方式による遮水壁工法を採用することは、費用面及び長期間運用の可能性の観点からみて無理があると考え、政府に見解を伺いたい。

### 小 熊 慎 司君（維新）

- ・ 福島第一原発事故対応では、国が前面に立つとの基本方針が示されたが、東京電力との役割分担や実施体制の状況を伺いたい。また、情報共有が不十分であり、国と東京電力との一層の情報共有と連携の必要性があると考え、政府の見解を伺いたい。
- ・ 汚染水対策では、2014 年度中に全てのタンク内汚染水の多核種除去設備（ALPS）による処理を終了させる予定となっているが、計画通りに 2014 年度中に終了することは可能なのか政府の見解を伺いたい。また、汚染水処理後も処理水が貯まっていくこととなるが、貯蔵タンクの容量は増設予定分も含め合計で 80 万トンしかないと聞いている。汚染水が貯蔵容量を超えないように対応を考える必要があると思うが政府の見解を伺いたい。
- ・ 福島食品については食品中の放射性物質の数値基準を設けているが、食品によっては福島県外あるいは国外の食品の方が数値が高いものもある。正しい知識の普及とともに他の地域との相対的な比較数値を発表していく必要があると考えるが政府の見解を伺いたい。

### 椎 名 毅君（みんな）

- ・ 福島第一原発 4 号機の使用済燃料プールからの燃料取り出し作業の一連の過程でどのような安全対策を実施

するのか、原子力規制委員会の見解を伺いたい。

- ・福島第一原発建屋内への地下水流入抑制策として、粘土による地下バウンダリ方式が民主党政権時代の2011年に検討されていたが、今回採用された凍土方式による陸側遮水壁と具体的にどのように違うのか、磯崎経済産業大臣政務官の見解を伺いたい。
- ・事故収束作業を東京電力のみに行わせ続けることには限界があり、東京電力を事故収束を担う組織とそれ以外の電力事業を行う組織に分社化したうえで、前者については国有化等を行い国費を投入しやすい環境を整備すべきと考えるが、田中経済産業大臣政務官の見解を伺いたい。

### **笠 井 亮君（共産）**

- ・原子力規制委員会は柏崎刈羽原発の新規制基準への適合性審査を保留していたが、11月13日の同委員会において同審査を開始する方針が示された。この方針転換の理由を田中委員長に伺いたい。
- ・東京電力は「福島第一原子力発電所の緊急安全対策」において、社内外総動員体制による汚染水・タンク対策関係要員の強化を行うこととしているが、現時点における増員人数を廣瀬社長に伺いたい。また、その増員のうち、原子力部門内の再配置及び社外からの受入れの内訳とともに、これで汚染水対策への体制整備が十分と考えているか伺いたい。
- ・原子力規制委員会が行った実務経験者の募集については、総務省による定員増の了承前に行われているが、この手続は適正であると言えるのか、原子力規制庁の認識を伺いたい。

### **村 上 史 好君（生活）**

- ・原子力規制委員会設置法により原子力規制委員会の下に設置することが規定されている原子炉安全専門審査会、核燃料安全専門審査会及び放射線審議会が、未だに設置されていない理由及び設置の見込み時期について、田中委員長の見解を伺いたい。
- ・福島第一原発4号機の使用済燃料プールからの燃料取出し作業について、作業に伴うリスクや長期にわたって専門性を有する作業員を確保する方法について廣瀬社長に伺いたい。
- ・現在国会で審議中の「特定秘密の保護に関する法律案」に関連して、同法案が成立した場合、原子力規制行政に係る事項で特定秘密に該当する情報があるのか、田中委員長の見解を伺いたい。